

平成22年10月1日

各学部長  
各研究科長 殿  
教職員各位

高等教育創造開発センター長  
野村由司彦

### 平成22年度三重大学「PBL教育支援」プログラムの案内

この度、高等教育創造開発センターでは、本学が掲げる教育目標の達成に有効なひとつのアプローチである問題発見解決型学習（PBL）を導入した教育活動、学生の主体的な学習を支援する教育活動に取り組む教員を対象として、教材開発・授業開発の支援を行います。詳細につきましては添付の資料をご覧ください。ご不明な点、ご質問等がありましたら、お気軽に担当者までおたずね下さい。

この支援プログラムが、先生方による教材開発・授業開発の取り組みを支援するためのよい機会となることを祈っております。

## 平成22年度三重大学「PBL教育支援」プログラム 応募要領

高等教育創造開発センター長  
野村由司彦

平成23年度に開講する授業科目でPBLを導入する教員に、10万円もしくは5万円の教材開発費・授業開発費を支援します。申請を希望する場合には、該当するPBLのタイプを選択し、別紙の申請書に必要事項を記入して、平成22年11月30日（火）までにお送りください。

### プログラムの目的

本プログラムの目的は、学生の主体的な学習を促進する授業科目を財政的に支援するとともに、その実践と成果を学内の関係者と共有することです。

### プログラムの内容

- ・担当する授業科目において、何らかの方法でPBL教育（Problem-based Learning、詳細は下記で説明しています）を生かして学生の主体的な学習を促そうと試みている教員に、一件あたり10万円もしくは5万円の教材開発費・授業開発費を支援します（事業予算枠：80万円）。
- ・応募の中から、支援対象となる授業科目を高等教育創造開発センターが選考します。応募者には、応募内容について責任を持ってコメントをさせていただきます。
- ・申請に際して、応募する教員からの要望があれば、高等教育創造開発センターの関係者が教材開発や授業開発に関する個別相談、情報提供などのサポートに応じます。
- ・応募者による実践と成果を三重大学の関係者と広く共有するために、高等教育創造開発センターが発行するニューズレター（約2,500字、Web上で学内外に公開）及び成果の発表会によって、活動の内容、方法、成果を共有していただきます。
- ・申請時には、『PBLマニュアル』の中から、授業科目で導入するPBLのタイプをひとつ選択してください。

### 対象

本プログラムの支援対象となる科目の条件は、次のとおりです。

- ・三重大学の専任教員が担当する授業科目
- ・平成23年度に実践する予定の授業科目
- ・学士課程（共通教育科目を含む）または大学院修士課程・博士前期課程・博士後期課程の授業科目

PBLのタイプ：詳細については、HEDCのHP上で公開している『PBLマニュアル』を読んで、4つのタイプの中から対象となるタイプをひとつ選択し、別紙の申請要項に必要事項を記入して、申請して下さい。〔<http://www.hedc.mie-u.ac.jp/>〕

- 問題提示型PBLを導入した授業科目
- 問題自己設定型PBLを導入した授業科目

- プロジェクト型PBLを導入した授業科目
- 実地体験型PBLを導入した授業科目

※申請する授業科目の類型が複数にまたがる場合には、主要なものを選択して下さい。  
※類型ごとに、採択数が決まっているわけではありません。

平成21年度以前に「三重大学PBL教育支援プログラムの支援」に採択された教員が同一の授業科目を対象として申請することもできます。その場合には、新しく改善した点を明示して下さい。

#### 申請方法

申請書（別紙）及び教材を学内便もしくは電子メールで下記の問い合わせ先までお送りください。申し込みの締切は平成22年11月30日（火）13:00です。

#### 支援対象となる授業科目の決定方法

・支援対象の授業科目の選考は高等教育創造開発センターで行います。申請者には、選考の結果を通知します。

#### 申請から報告までのプロセス

平成22年11月30日（火） 申請の締め切り

平成22年12月 支援対象科目の決定、予算配分の開始（平成22年2月末までに執行）

支援金は、平成22年度中に使用する必要があります。平成23年度には使用できませんので、予めご了承ください。

平成23年度 高等教育創造開発センターのニューズレターへの投稿

高等教育創造開発センターのホームページ <http://www.hedc.mie-u.ac.jp/>リンク先「ニューズレター」から過去の報告を利用することができます。

#### 留意点

- ・本プログラムは、優れた取り組みを選抜したり、問題のある取り組みを更正したりすることを目的とするのではなく、三重大学の教員の教育活動を支援し、その成果を関係者と共有して、学びあうことを目的としています。この機会をご活用いただければ幸いです。
- ・プログラムの内容や申請方法について、ご不明な点やご質問等がありましたら、気軽に下記までご連絡ください。
- ・PBL教育のこれまでの授業事例を参考したい方は、高等教育創造開発センターのホームページに掲載されたものをご覧ください。

[<http://www.hedc.mie-u.ac.jp/> 「教育支援のリソース」「ニューズレター」]

#### 本件に関する問い合わせ先

高等教育創造開発センター 長澤多代

電話 (059)231-5621 内線 3770 E-mail : [nagasawa@hedc.mie-u.ac.jp](mailto:nagasawa@hedc.mie-u.ac.jp)